

# 執筆規程

## 1. 論文の書き方

表紙頁、要旨、本文、文献、図表、図表の説明文で構成する。

原則として、マイクロソフトWordファイルとする。

原稿には、ページ番号、行番号を記載する。

## 2. 原稿の規程分量

- 1) 「総説」「原著」は、和文要旨・文献・図表を含み、12,000字以内で執筆する。図表は、刷り上がり1/4頁大のもの1個を400字として換算する。
- 2) 「短報」は6,000字以内で執筆する。図表は、刷り上がり1/4頁大のもの1個を400字として換算する。
- 3) 「症例報告」は、要旨・本文・文献・図表（5枚以内）を含み、9,600字以内で執筆する。

## 3. 表紙頁

- 1) 論文には表紙頁をつける。
- 2) 表紙頁には、①希望する論文の種類（総説、原著、短報、症例報告、活動報告、その他）②標題③著者名（共著者を含めて記載）④所属名（共著者を含めて記載）⑤責任著者連絡先（氏名、所属、会員番号、郵便番号・住所、電話番号・メールアドレス）を記載する。  
全ての論文の標題には英文タイトルを付ける。

## 4. 要旨

全ての論文には和文の要旨（400字以内）をつけ250語以内の英文アブストラクトをつける。要旨のあとに3～5個程度のキーワードを付ける。なお、英文要旨は、ネイティブ・スピーカーの校閲を著者自身の責任で受ける。

## 5. 本文

- 1) 本誌のホームページより、本誌が規定するフォーマットをダウンロードして使用する。
- 2) 余白25 mm、40文字×30行のレイアウトで、フォントはMS明朝体、標準、10.5ポイントを使用する。英数字はMS明朝体とし、半角とする。
- 3) 文章は楷書・横書き、口語体、現代かな遣い、数字は算用数字、単位は原則として国際単位系（SI単位）を用いる（長さ：m、質量：kg、時間：s、温度：℃、周波数：Hzなど）。
- 4) 章は1、2…、節は1)、2)…、項は(1)、(2)…、以下①、②…とする。
- 5) 句読点は、日本文の場合は全角の「、」「。」を使用し、英文は半角の「,」「.」を使用する。

## 6. 図表

- 1) 図・写真・表：図・表は本文に出てくる順に、それぞれ一連番号をつける。グラフィック表現お

および写真は図に含める。図の番号および表題は、図の下に、表の番号および表題は、表の上につける。図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとり、投稿時に許可書を提出する。図表の説明（キャプション）は、図表の後に頁をあらたにして記載する。スライド図・表は投稿用に作成し直す。

- 2) 他書（他誌）から図表等を転載する場合は、原稿の一部となるため、論文著者の責任において著作権者に許諾申請を行い、使用した図表にはその旨を記載する。また、出典を明記する。Webサイトに掲載されている著作物（写真など）についても同様に扱う。無断転載は著作権の侵害となる場合があるため注意する。以上について編集部は一切の責任を負わない。

## 7. 論文の構成

### 1) 「原著」「短報」の構成

- (1) 標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語・略称は用いない。用語は本文に用いた言語とし、キーワードを含むように配慮する。
- (2) 著者名：著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最小限に記載する。審査開始後の著者の変更は原則認めない。
- (3) 要旨：「目的」「方法」「結果」「結論」について項を分けて簡潔に記載する。
- (4) キーワード：3～5個程度とする。標題および要旨より抽出し、不十分な場合は本文から補充する。国際的に広く通用する言語（英語など）または日本語で記載する。
- (5) 本文：本文は原則以下の項目に沿って本文を構成する。
  - ①はじめに（序論、緒言）：研究の背景、臨床的意義、研究の目的、取り扱っている主題の範囲、先行研究との関連性などを記述する。
  - ②対象および方法：用いた研究方法について第三者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述すること。
  - ③結果（成績）：研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは、検証、追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示す方が望ましい。
  - ④考察（分析）：結果の分析・評価、今後の課題などを記述する。
  - ⑤結論：研究で得られた結論を 200 ～ 300 字程度で簡潔に記述する。
  - ⑥利益相反：利益相反に関し、投稿時に利益相反の有無について開示する。
  - ⑦謝辞：著者資格に該当しない研究への貢献者、および助成金受給等について記載する。
- (6) 文献：引用文献のみを、本文の引用順に記載する。（記載方法は下記参照）

### 2) 「症例研究」の構成

- (1) 標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語・略称は用いない。用語は本文に用いた言語とし、キーワードを含むように配慮する。
- (2) 著者名：著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最小限に記載する。審査開始後の著者の変更は原則認めない。
- (3) 要旨：「はじめに」「症例紹介」「経過（結果）」「考察・まとめ」について項を分けて簡潔に記載する。

- (4) キーワード： 3～5個程度とする。標題および要旨より抽出し、不十分な場合は本文から補充する。国際的に広く通用する言語（英語など）または日本語で記載する。
- (5) 本文：本文は原則以下の項目に沿って本文を構成する。
- ①はじめに（序論，緒言）：対象を選択した理由や根拠を記述する。
- ②症例紹介：症例の基本的事項；基本情報（年齢、性別等）、病歴（現病歴、必要であれば既往歴、家族歴、社会生活歴）、臨床検査所見、理学療法評価結果、理学療法方針・介入内容を簡潔に記述する。倫理的配慮およびプライバシーの保護に関しては、投稿規定「研究倫理」の記載内容に従うこと。
- ③経過（結果）：介入経過（結果）を簡潔に記述する。
- ④考察：過去の報告との類似点や相違点について比較検討を行い考察する。今後の治療の展開・方針転換や研究への広がりがある場合は、それらの提案についても記述する。
- ⑤まとめ：症例を通じて明らかになった点を簡潔に記述する。
- ⑥謝辞：著者資格に該当しない研究への貢献者、および助成金受給等について記載する。
- (6) 文献：引用文献のみを、本文の引用順に記載する。（記載方法は下記参照）
- (7) その他：編集部の判断により、症例検討の内容によっては「原著」「短報」の構成で本文の再構成を指示する場合がある。

## 8. 文献

引用文献は、本文の引用順に並べる。雑誌の場合は、著者氏名、論文題目、雑誌名、巻、頁（最初～最終）、発行年（西暦）の順に書く。単行本の場合は、著者氏名、書名、編集者名、発行所名、発行地、発行年（西暦）、頁を記載する。文献の省略は、公の省略法（Index Medicus など）に従う。引用文献の著者氏名が4名以上の場合は、最初の3名を記載する。その他は、他、または et al. とする。

「,」 「.」 「:」 「;」 は必ず半角で記載し、そのあとに半角スペースを入れる。文献の記載は、下記の【例】に則って正確に記載する。

### 【例】

#### 論文より引用する場合（和文誌、英文誌）

- 1) 大倉和貴，甲斐 学，川越厚良，他.：高負荷圧吸気筋トレーニングが若年競泳選手のパフォーマンス向上へ及ぼす効果. 日呼ケアリハ学誌 24：268-274，2014.
- 2) Langer D, Charususin N, Jácome C, et al.：Efficacy of a Novel Method for Inspiratory Muscle Training in People with Chronic Obstructive Pulmonary Disease. Phys Ther 95：1264-1273，2015.

#### 単行本より引用する場合

- 3) 信原克哉：肩—その機能と臨床—（第3版）. 医学書院，東京，2001，pp. 156-168.
- 4) Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4. In: Morrissy RT and Weinstein SL (eds): Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, pp. 97-112.

- 5) 名郷直樹：EBM の現状と課題，エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際. 内山 靖（編），医歯薬出版，東京，2008，pp. 18-38.

#### Webページから引用する場合

- 6) 厚生労働省ホームページ 障害者白書平成23年度版.

<http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h23hakusho/zenbun/index.html>

(2011年12月19日引用)

- 7) World Health Organization, 3 July 2003. Update 94: Preparing for the Next Influenza Season in a World Altered by SARS. <http://www.who.int/csr/disease/influenza/sars>. Accessed: 15 September 2003.

#### 巻、号、ページ数などが付いていないonline文献を引用する場合（DOIを記載）

- 8) Walker J, Kelly PT, Beckert L. Airline policy for passengers requiring supplemental in-flight oxygen. *Respirology* 2009 doi 10.1111/j.1440-1843.2009.01521.x

## 9. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳を記載する。

## 10. 機器名の記載法

機器名は、「一般名（会社名、製品名）」で表記する。なお、統計ソフトは「製品名、バージョン番号、会社名」で表記する。

## 11. 倫理審査の記載法

投稿原稿では委員会名は記載せず、承認番号のみの記載とする。最終原稿では委員会名、承認番号を明記する。

## 12. 謝辞

文中で謝辞を述べる際には、関係者同士が事前に確認し合い了解を得ることを前提とし、編集部はこれに関する一切の責務を負わないものとする。また当該研究の実施にあたって研究費助成を受けた場合は、その資金名およびその番号を記載する。なお、投稿者の特定に繋がらないように投稿時には空欄とすること。

## 付則

この規定は2021年12月16日より施行する。

日本呼吸理学療法学会 編集委員会